

58. 大晦日に、道端で出会う

001A : Bサン。

Bさん。

002B : ハイ。

はい。

003A : モジツギ オワッタノスカ。

餅搗き 終わったんですか。

004B : ウン。オラエデ オワッタワ。(A ハーハー) ナニ フタウスモ
うん。うちで[は] 終わったわ。(A はいはい) なに 二臼も

ツゲバッサ (A ウン) スムガラ。

搗けばさ (A ウン) 済むから。

005A : ウーン。カミダナーカザリ イソガシーネ、イマカラ、ホンデネ [1] 。

うーん。神棚飾り 忙しいね、 今から、 それで[は]ね。

006B : オラー ムカシー ゴコ° カラ ヤッタгентモ コノコ° ロワ アサカラ
私は 昔 午後から やったけれども この頃は 朝から

ヤルモン。

やるもの。

007A : アー。(B ウン) ヤッパリー。

あー。(B うん) やっぱり。

008B : ヤッパリ ゴコ° ーダト ホレ シ ミジケーガラッサ、(A ウーン)
やっぱり 午後だと ほら 日 短いからさ、(A うーん)

ンダガラ アサカラ ヤルゴトニシタオン。

だから 朝から やることにしたもの。

009A : ナンダカ ベットサン [2] ガ ゴゴー ゴゴ カザレット ユツタガラ
何だか 神主さんが 午後 午後 飾れって 言ってたから

オラエデ イツツモ ゴゴナノサ。
うちで[は] いつも 午後なのさ。

010B : アー。マー カテードコデア ソーダベゲントモネ。
あー。 まあ 固いところじゃあ そうだろうけれどもね。

011A : うーん。ナンダカ セワシネネー、トシ オグンノモネー。
うーん。何だか せわしないね、年 送るのもね。

012B : ンダガラネー。
そうだね。

013A : うーん。ナント ホントニ ホンデ イートシコシ シテクダハリセ。
うーん。なんと 本当に それで[は] よい年越し してください。

014B : ハイ。ドーモネー。
はい。どうもね。

015A : ハイハイ オンデー。
はいはい それでは。

[1] カミダナーカザリ イソガシーネ、イマカラ、ホンデネ

「餅を搗いた」すなわち、鏡餅を作ったという話を受けて (=ホンデネ)、今から、その鏡餅を供える神棚飾りの支度をするととなると忙しいね」といった趣旨と解釈される。

[2] ベットサン

「別当さん」。神主のこと。